資料３

発達障がいに特化した福井型就労支援プロジェクト　概要

教育
福祉　労働

現状

ライフステージ	乳幼児	保育所 こども園 幼稚園	小・中学校	高校・大学・一般

企業とのミスマッチ
周囲とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ不足
就労継続が困難

「子育てファイルふくいっ子」の活用

県発達障がい児者支援センターによる支援
（地域支援マネジャーの配置・各種研修・サポートメールマガジン配信…）

発達障がい児者への福井型就労支援プロジェクト

【目標】早い段階で自分の特性や適性に気づき、
自分らしく活躍できる支援体制の整備を図る

教育
福祉　**プロジェクト会議**　労働
大学・研究機関

＜分野ごとのWG＞（随時開催）
福祉・教育・労働の行政・支援機関が実施に向けて検討

＜全体会議＞（年2回）
全体方針（方向性）の協議
進捗管理

本人・家族等への支援

課題①
本人・保護者が気がかりさを感じていない場合、就労を見据えた自己理解の促しが困難
⇒・自己理解ツールの開発・学校での試行
・高校生への卒業時相談窓口紹介リーフレット

課題②
就業体験は限られるため就職のミスマッチがある（さまざまな就労業体験が必要）
⇒企業見学バスツアー（労働政策課）

福祉事業所等への支援

課題①
就職のマッチングなど、地域で発達障がいに特化した相談対応が不十分
⇒発達障がい者サポーターの育成

課題②
発達障がいに特化した就労支援プログラムがない
⇒発達障がいに特化した就労支援プログラムの開発

企業等への支援

課題①
受入れ側（企業等）の発達障がい児者への理解が不十分
⇒受入れ企業等に対する出前講座